

営農専門委員会 視察研修報告

営農専門委員会では、本市の農業施策や地域営農活動の参考にしようと10月20日、21日に視察研修を行いました。

えちご上越農業協同組合 (新潟県上越市)

新潟県はコシヒカリの産地として有名ですが、米に過度に依存した農業経営からの脱却を後押しするため、えちご上越農協では、直売所、農産物を加工・販売する施設やレストランを設置して園芸作物振興を図っていました。直売所では七百名を超える利用組合員に、マーケティングに基づいた売れる品目などの情報を提供するとともに生育指導も行っているそうです。もちろん農家本人の努力が必要ですが、安心して生産し、出荷できる体制になってい



えちご上越農協

ると思われました。

(有)サンライス魚沼 (新潟県魚沼市)

2日目は、中山間地域で地域の担い手として活動している法人です。

元々は「農機具の共同購入をしよう。」と呼びかけあった団体に旧湯之谷村とJAが支援して発足した法人で、減農薬農法と、地域の畜産農家と連携した循環型農業に取り組み、51畝余の経営をしています。

また、補助制度を利用してライスセンター、育苗施設やもちの加工所を建てて



サンライス魚沼

年間就労を可能にしています。

「村で米の実らない田んぼを見たくない。」「会社であれば将来自分の子供が農業を継がなくても・・・」と専務の佐藤さんが法人の意義を話してくださいました。

全国トップブランドの米を中山間地域で、かつ特別栽培米として栽培されていることは並大抵の努力ではできないことと思えました。研修した2カ所ともホームページがあります。ご覧になってみてください。

(農業委員 清野吉喜)

農業者年金協会交流会

グラントゴルフ大会を開催

10月18日、農業者年金協会交流会グラントゴルフ大会が藤島体育館グラントゴルフ場を会場に、各地域から54名の会員の参加のもと開催されました。

初めに三浦会長より鶴岡市の農業者年金加入状況について説明があり、加入推進を図るうえで、会員のみなさんからもお声掛けをお願いしたいとお話がありました。

その後、12チームに分かれて2コース16ホールをまわり、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。参加者からは時折歓声があがり、お互いに声を掛け合いながら、秋晴れの空のもと、楽しんでプレーしていました。大会終了後には懇親会を開催し、それぞれのプレーについて称えあったり、農業者年金の情報を交換した



りしながら、和気あいあいとした雰囲気の中、会員同士の親睦を深めました。来年度も開催する予定です。ので、会員のみなさんぜひご参加ください。

《優勝者》

阿部 久さん

(鶴岡・谷定)

おめでとうございませう！

